

新市政のスタートと新たな年の幕開けにあたって

# 文化を大切にしたい 希望あふれるまちに

上越市長 中川 幹太

明けましておめでとうござい  
ます。11月9日に市長に就任さ  
せていただき、早いものでもう  
2カ月になります。

私は20年前に、自然と歴史・  
文化あふれるこのまちと、人生  
を楽しみながら暮らしている  
人々にひかれ、桑取地区に移住  
しました。大阪や東京などで暮  
らしてきた私にとって、毎日が  
感動の日々でした。庭先に自生  
する山菜、集落を潤す豊富な水、  
玄関を開けると飛び込んでくる  
蛭、どこに星座があるのか見分  
けがつかない程の満天の星空、  
一夜にして広がる白銀の世界、  
そして互いに支え合いながら生

活している人々…。地域を囲む  
山々には、燃料や家の材料とな  
る樹木や、食卓を彩る四季折々  
の食材など宝物があふれ、茅葺  
きの屋根や各家庭で使われてい  
る民具には、生活の知恵が詰まっ  
ていることを知りました。親鸞  
聖人、上杉謙信、前島密、川上  
善兵衛、坂口謹一郎など、多く  
の偉人がこの地で偉大な足跡を  
残しています。人口の減少と少  
子化・高齢化が急速に進む中に  
あっても、この上越市のあふれ  
る魅力子どもや孫に伝え、そ  
して全国、世界へと発信してい  
くことが、私たちの未来を切り  
開いていくことにつながると信

じています。

今年が希望と夢を生み出すス  
タートの年になるよう、地域が  
主役のまちづくりを推進するこ  
とも、ふるさとへの誇りと愛  
情を育てる取り組みを実践し、  
今を生きる市民の皆様や次代を  
担う子どもたちが幸せになれる  
よう、誠心誠意、全力を注いで  
まいりますので、皆様のご支援、  
ご協力を心からお願ひ申し上げ  
ます。

皆様にとりまして、この一年  
が幸多き年となりますよう心か  
らお祈り申し上げます、新年のご挨拶  
といたします。

令和4年新年のご挨拶

# 変革の年と健やかな暮らしへの思い

上越市議会議長 飯塚 義隆

明けましておめでとうござい  
ます。市民の皆様におかれまし  
ては希望に輝く新年を迎えられ  
ましたこととお慶び申し上げま  
す。

昨年は昭和61年以来の豪雪が  
市民生活に大きな影響を与えた  
ことから、市に対し、早期の道  
路交通の確保や要援護世帯への  
除雪支援の期間延長などの申入  
れを緊急に行いました。また、  
新型コロナウイルス感染症対策  
として、生活困窮世帯等への支  
援拡大や事業者への継続的支援  
などの提言を行うなど、市民生  
活を取り巻く待ったなしの課題  
へ迅速に対応してきました。

今年、12年ぶりとなる市長  
交代に伴い行政の施策やその執  
行体制の変更が提案されていま  
す。改めて振り返りますと、日  
本国憲法93条には、首長と地方  
議員を住民が直接選挙で選ぶ二  
元代表制を取るとの規定があり、  
互いに抑制と均衡（チェック&  
バランス）を図りながら自治体  
を運営していくことが期待され  
ています。そして、近年の多様  
化する民意を背景に、市議会の  
役割と責任は一層大きくなって  
きています。

市政の大きな変革を迎えても、  
全ての市民が健やかに生き生き  
と暮らせるまちであってほしい

という市議会の想いは変わりま  
せん。議員一同、これからも市  
民のより良い暮らしのため、全  
力を尽くして参ります。

結びに、この一年が、市民の  
皆様にとりまして、健やかで幸  
せに満ちた年となりますよう、  
心からお祈り申し上げます。

